

産業建設
常任委員会

委員長 森脇 徹

可決
すべき

●滋賀県市町村交通災害共済組合規約の変更に関する協議について

平成29年度の加入募集を最後に事業を廃止するもの。

採決の結果、ほか1議案を含む2議案は可決すべきものと決定しました。

本会議での討論

賛成

粟津泰藏

TPPは異常な秘密主義で、前国会には、黒塗り資料しか出ず、今国会も、輸入米の価格偽装や協定文書の誤訳などで十分な議論も説明にもなっていない。

高島の農業への影響額(県の10%相当)は、約4億円が見込まれる。

賛成

熊谷もも

国益とはこの国に住むすべての人があわせであることです。米どころ美しい稲穂が頭を垂れる高島市にとって国益をかんがみてTPP協定をこの臨時国会で進める必要はないと考え、この請願に賛成します。

不採択と
すべき

●臨時国会でTPP協定を批准しないことを求める請願
採決の結果、不採択とすべきものと決定しました。

行政視察報告

高島市内では、「ため池百選の淡海湖」や朽木市場の圃場を潤す「明護隧道」など、百年前の手掘り坑道技術が、現役の産業遺産として活用されていることから、『産業・歴史遺産を活かしたまちづくり』として管外視察調査を行いました。

愛媛県新居浜市では、別子銅山を中心とした鉱山都市の壮大きに感銘を受け、現在、公開に向け準備中の登録有形文化財「旧端出場水力発電所」で当時、最大級のドイツ仕様の発電技術を視察しました。

広島県福山市では、瀬戸内海に面し、歴史的な街なみが残る「鞆の浦」地域の県道開発と市民の暮らしと安全を守る狭間で貴重な教訓を伺い、大変有意義な調査となりました。

一方、市内調査では、高島協協業組合を訪れ、高島ちぢみを東南アジアへ市場開拓する最前線に触れ、また、市商工会と金融機関との意見交換では、議会が果たす役割を一層自覚する機会となりました。

予算
常任委員会

委員長 澤本長俊

可決
すべき

一般会計補正予算 主な事業

●支所庁舎整備事業

48,315千円

今津支所の実施設計を行った結果、地盤改良工事の追加など必要となった事業費を追加。

●放課後児童健全育成事業

5,059千円

新旭北小学校区「学童やまびこ」の利用児童数が適正基準を超えたことから、2つに分割し運営経費を追加。

●財政調整基金積立金

291,566千円

将来財源不足が生じたときに必要な財源を確保するため積み立てを行うもの。

●公共施設整備基金積立金

1,000,000千円

公共施設整備に必要な財源を確保するため積み立てを行うもの。

本会議での討論

反対

福井節子

平成28年度高島市病院事業会計補正予算(第1号)案

地産地消を推奨してきた病院給食が「おいしい」と言われるゆえん。食材を含む包括委託は、冷凍物や調理済みの物の利用なども多くなる。入院患者の医療と食のあり方を考えたとき、直営に戻すことが必要だ。

賛成

青谷 章

給食業務と医療用器具等賃借業務の契約満了による平成29年度以降の債務負担行為であり、充実した患者サービスを継続する面から必要不可欠であり、給食業務でも地元食材の使用を図るなど、適正であると判断します。

農林業集落排水事業特別会計補正予算 主な事業

マキノ南部地区農業集落排水処理施設の排水区域が今年10月に公共下水道への接続が可能となったことから、不用となる処理場の清掃および改修にかかる事業費を追加。
26,800千円

このほか3議案を含む5議案は「可決すべきもの」と決定しました。